



平成24年11月9日

各 位



会 社 名 ぷらっとホーム株式会社
代表取締役社長 鈴木 友 康
(コード番号 6836 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 河南邦男
(T E L 0 3 - 5 2 1 3 - 4 3 7 6)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,400	0	0	0	0.00
今回修正予想 (B)	1,250	△ 214	△ 218	△ 233	△18,372.50
増減額 (B - A)	△ 150	△ 214	△ 218	△ 233	
増減率 (%)	△ 10.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	1,125	△ 397	△ 399	△ 444	△35,017.23

2. 業績予想の修正の理由

当社は、独自性の高い自社製品であるマイクロサーバに継続して経営資源を集中しております。当第2四半期累計期間において出荷を開始したマイクロサーバの新シリーズ(注1)は、従来より大幅に処理能力が向上し、従来機種では対応できなかった用途への拡販を行うとともに、パートナー企業との連携を広げ、より付加価値の高いアプリケーション製品(注2)のラインナップの拡充を図っております。当第2四半期末には大手システムインテグレータの新たなクラウドサービスの機器として採用される(注3)など、先行的な動きが始まっております。また、従来のコンピュータでは設置や運用が困難な多拠点ネットワークシステムへの導入が進んでおります(注4)。

当事業年度の売上高は、サーバ(IAサーバ)・ストレージについては既存顧客への継続した出荷があり当初計画を上回る見込みであります。マイクロサーバについては新シリーズの出荷開始が遅れたこと、及び出荷は多数の企業にわたるもののその多くが検証段階の製品購入であるため、本格的な出荷は第3四半期以降になると見込まれることから、売上高は前事業年度を上回るものの、当初の計画は下回る見込みであります。この結果、売上高全体では当初予想を下回る見込みであります。また、マイクロサーバに係る研究開発費やマーケティング費用が増加する見込みであることから、営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を下回る見込みとなりました。

当社は、パートナー企業との協業を一層進め、製品受注の拡大を図り、早期の黒字化を図ってまいります。

以上の理由により、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、平成24年5月11日の決算発表時に公表いたしました平成25年3月期通期業績予想を上記の通り修正いたします(注5)。

(注1) ARMを採用したマイクロサーバ 「OpenBlocks AX3」と「OpenBlocks A6」を発表

<http://www.plathome.co.jp/about/press/120607obs.html>

(注2) DHCPなど統合型・Webキャッシュ・Webフィルタの「楽ちん」アプリケーション3モデルを発売

<http://www.plathome.co.jp/about/press/120607eb.html>

コムスクエアと協業で、運用負担を大幅に軽減する「エージェントレス」監視アプリケーションを発表

<http://www.plathome.co.jp/about/press/120920.html>

NTTデータと協業で、最新の統合運用管理環境をより簡単に導入できるアプリケーションを発表

<http://www.plathome.co.jp/about/press/121005.html>

- (注3) 大塚商会が提供のリモートアクセスサービスでぷらっとホームの小型ARMサーバーを採用
<http://www.plathome.co.jp/about/press/120912.html>
- (注4) 日本郵船のコンテナ船全船に納入の遠洋航海船向け衛星通信回線サービスを実現
http://openblocks.plathome.co.jp/casestudy/obs_furuno.html
- (注5) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上